

藤沢市長

鈴木恒夫様

議会議長

加藤 一

議会報告会「Online カフェトークふじさわ」で出された意見等に基づく提言について

1. 経緯

本市議会は、平成25年2月に制定された藤沢市議会基本条例に基づき実施してきた議会報告会の形を変え、平成28年から「カフェトークふじさわ」としてこれまで5回開催してきました。

今回は新型コロナウイルス感染症拡大を受け、試行的に Web 会議システムを活用し、「Online カフェトークふじさわ」として、市内中高生、商工会議所、民間企業の方々にご参加いただき、「コロナ禍における新しい藤沢市を展望する（第1・2部）」「コロナ禍における公民連携を展望する（第3部）」として幅広い意見交換を行いました（令和2年11月15日開催）。

また、カフェトークふじさわの講師及びファシリテーションを依頼した関東学院大学牧瀬准教授のゼミナールにおいて、今回のカフェトークふじさわの開催結果を踏まえ、政策提言を作成し、その内容について、市議会に対して発表がされました（令和3年1月26日開催）。

この度、これらの結果を集約しましたので、趣旨をお汲み取りいただき、今後の藤沢市の取り組みに反映していただきたく、提言します。

2. Online カフェトークふじさわで出された意見のまとめ

（第1部）鵜沼中学校生徒会

- ・朝の満員電車の密を避けたい
- ・オンライン授業に慣れない
- ・学校のトイレが老朽化している
- ・部活動の発表の場がほしい
- ・PCR検査を無料にしてほしい

（第2部）湘南台高等学校生徒会・藤沢総合高等学校生徒会

- ・Wi-Fi環境の整備
- ・部活動やクラブ活動の大会などの会場提供
- ・アルバイトができない、見つからない
- ・テレワークが増え、求人が減り、就活が難しくなった
- ・新しい形でのイベントの提案・開催（オンラインなど）
- ・多様な人々との交流による課題発見
- ・地元の店を利用し地域経済の活性化
- ・医療従事者に対する差別防止、感謝の啓発ポスターなどの作成
- ・病院に通院するすべての人への支援
- ・コロナの後遺症に悩んでいる人への対応
- ・おしゃれなマスクのトレンド化
- ・フェイクニュースを避けるための啓発

- ・市を主体とした若者によるSNSの発信
- ・SNSを使わない年齢層に対する情報の発信

(第3部) 民間企業

- ・地域のお祭りなどイベントができない
- ・事業所の存続が危ぶまれる
- ・市独自の給付金など補助が不十分
- ・地域内、地域外とのコミュニティ活動が妨げられる
- ・市と民間が共有できる資料のデータ化
- ・民間と行政の役割分担ができていない
- ・デジタル化による新しい産業への着手

3. 牧瀬ゼミナールの政策提言で出された提案の抜粋

類型	藤沢市役所が解決すべき課題への対応案
交通・仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワークの推進を条例で定める ・仕事への不安の共有 ・求人サイトの開設 ・藤沢市官民データ活用への民間の参入
生活・暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインによるおまつりの開催 ・感染防止対策の行動規範を条例で定める ・物産仕送りプロジェクト
学校	<ul style="list-style-type: none"> ・LINEでカウンセリングできるオンライン相談窓口の設置 ・校舎をきれいにしつつ、コロナ対応された校舎に修繕する
行政	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢市応援動画の募集
公衆衛生・医療・ コロナ克服	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康管理アプリ」の作成 ・感染症に負けない都市宣言 ・おしゃれマスクイラストコンテスト ・誹謗中傷防止ポスターデザインコンテスト ・「子供の遊び場+職場」施設を作る ・新たな標語看板、ポスターの作成
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・「藤沢スゴ技コンテスト」市民のスゴ技動画を募集する

以上